



**開催延期**

2020年、いよいよ  
東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。  
世界が注目のする中、日本のMICEにとっても  
真価が問われる年、大きな転換点になる年です。  
ブランドینگ、マーケティング、コンテンツ開発……  
MICEに求められるものは、ますます高度化しています。  
限界突破には、現状分析の上に、  
新たな発想と逞しい想像力が不可欠。  
ポストオリンピックに向けて、  
MICEをどうデザインするか——  
北陸富山で熱く議論します。

国際観光コンベンションフォーラム 2020 in 富山

# MICE × デザイン!

2020年3月9日(月)・10日(火)

**開催概要**  
[開催地] **富山県富山市**  
[会場] **富山国際会議場「大手町フォーラム」**  
〒930-0084 富山市大手町1番2号  
TEL 076-424-5931 <https://www.ticc.co.jp/>  
[定員] 130名(申し込み先着順) ※一部一般公開  
[参加費]

**A登録(意見交換会 参加)**  
●一般 12,000円(学生 6,000円)  
●日本コンベンション研究会会員 8,000円(学生会員 4,000円)  
**B登録(意見交換会 不参加)**  
●一般 10,000円(学生5,000円)  
●日本コンベンション研究会会員 6,000円(学生会員 3,000円)  
オプション1…5,000円 3月10日(火)  
エクスカーション & ミーティング(昼食含む)  
オプション2…5,000円 3月10日(火) 交流会参加

**お問い合わせ・申し込み**  
**日本コンベンション研究会事務局**  
〒060-0001 北海道札幌市中央区北1条西3丁目  
札幌MNビル3階  
**(公財)札幌国際プラザ・企画事業部**  
TEL 011-211-3676  
FAX 011-232-3833  
URL <https://www.japan-convention.net/>  
E-mail [info@japan-convention.net](mailto:info@japan-convention.net)  
お申し込みは研究会のホームページから

**国際観光コンベンションフォーラム**  
日本コンベンション研究会が主催し、全国の研究者、自治体、観光協会、コンベンションビューロー、観光コンベンション関連企業・施設等に呼びかけ、MICE・集客交流産業のあり方・課題などを地域の立場から議論する場として、2006年から毎年度開催しています。2017年新潟、2018年長崎、2019年札幌に続き、富山で開催するものです。  
**日本コンベンション研究会とは**  
日本コンベンション研究会は、日本各地でコンベンション創造に関わる産学官の人士や、地域を拠点としてコンベンション創造を進めるさまざまな組織が連携する、全国的な研究組織です。  
[会長] 石森 秀三 北海道博物館館長、北海道大学観光学高等センター特別招聘教授



[主催] 日本コンベンション研究会 [共催] 富山県、公益財団法人富山コンベンションビューロー  
[主管] 公益財団法人札幌国際プラザ、NPO法人コンベンション札幌ネットワーク  
[後援] 観光庁、北陸信越運輸局、富山市、日本政府観光局(JNTO)、一般社団法人日本コンgres・コンベンション・ビューロー(JCCB)、一般社団法人日本コンベンション協会(JCMA)、MPI Japan Chapter(予定)  
[協力] 一般社団法人日本イベント協会北海道支部

## プログラム

**第1日 3月9日(月)**

\*市民公開

13:00 開場 (富山国際会議場 メインホール)

13:30 国際観光コンベンションフォーラム 開会

- 主催者あいさつ  
石森 秀三 日本コンベンション研究会会長
- 地元歓迎あいさつ

13:40 特別講演  
「地域とともに生きる — 伝統産業の取り組み」

伝統産業にデザインで新たな市場を拓くとともに、地域観光へ貢献する — その取り組みをお話しいたします。

- 能作 克治 (株)能作 代表取締役社長

14:25 基調講演「世界が求める日本の「おもてなし。」

リッツ・カールトンで実績を積み上げたホスピタリティの第一人者から、日本の「おもてなし」のあり方を語っていただきます。

- 高野 登 人とホスピタリティ研究所 代表/  
元リッツ・カールトン日本支社長

15:25 休憩

15:40 特別プログラム「MICE Tech」

MICEの最新テクノロジー情報を、先端企業から紹介いただきます。

16:10 会場移動 & アイスブレイク

16:30 分科会

◇第1分科会 (富山国際会議場 201-202)

「地域におけるMICEブランディングを考える」

事例を参考に、地域でのMICEブランディングをどう進めるかを議論します。

- コーディネーター  
敷田 麻美 北陸先端科学技術大学院大学 教授

- 話題提供  
前佛 聡 富山県観光振興室 コンベンション・賑わい創出課長

◇第2分科会 (富山国際会議場 203)

「地域/ホテルの未来 — 南砺市井波での挑戦に学ぶ」

古民家と町全体をホテルとして活用し、職人の手しごとに触れる旅を提案する「BED AND CRAFT」。その取り組みから、地域/ホテルの未来を考えます。

- コーディネーター  
玉井 和博 立教大学観光研究所 特任研究員

- 話題提供  
山川 智嗣 (株)コラリアルチザンジャパン 代表取締役

◇第3分科会 (富山国際会議場 204)

「日本MICEの躍進は女性の力で」

女性がリードする世界のMICE。今後の日本MICE伸長は、いかに女性が力を発揮できるかがカギ。第一線で活躍するMICEのプロが語ります。

- コーディネーター  
西本 恵子 一般社団法人 MICE総研 上席研究員/  
ICCA(国際会議協会)アジアパンフィック部会担当理事

- 話題提供  
川崎 悦子 日本政府観光局(JNTO)MICEプロモーション部長

17:45 (分科会 終了予定)

18:00 意見交換会【A登録】

富山国際会議場 3F ホワイエ

**第2日 3月10日(火)**

9:15 開場 (富山国際会議場 201-202)

9:30 パネルディスカッション  
「今、求められる日本のMICEコンテンツ」

MICE誘致に欠かせないコンテンツの存在。観光庁のMICE施策でも進められる地域コンテンツの創出とその活用。目指す方向を探ります。

- コーディネーター  
前嶋 了二 中村学園大学 流通科学部 准教授

- パネリスト  
川崎 悦子 日本政府観光局(JNTO)MICEプロモーション部長  
ジェームス・ケント THE J TEAM(株) 取締役  
平泉 洋 観光庁MICE推進担当参事官

11:15 総括

分科会報告 ●各分科会コーディネーター

全体総括 ●石森 秀三 日本コンベンション研究会会長

11:45 閉会

オプション①

12:00 エクスカーション

[出発]

源 ますのすしミュージアム (バス移動/昼食)

14:00 富山県総合デザインセンター

バーチャルスタジオ等視察

14:30 能作 工場見学・鋳物製作体験

15:30 MICEサロン・ミーティング

「MICEレガシー・プログラムを考えよう!」

今、MICE主催者から、SDGsイベント、CSR活動など、レガシー・プログラムが求められるようになってきました。実行可能なメニューを考えます。

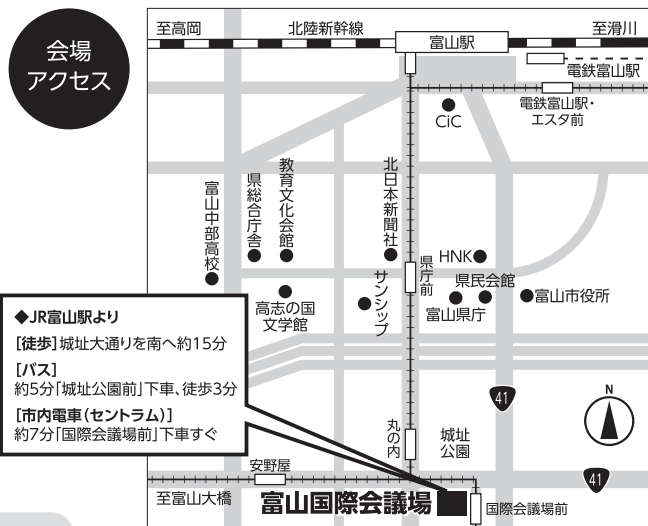
- ファシリテーター  
松野 淑恵 NPO法人コンベンション札幌ネットワーク 副理事長

17:00 能作 出発 (バス移動)

18:00 JR富山駅 到着

オプション②

18:30 交流会 (旬撰料理 順風満帆)



■富山国際会議場 大手町フォーラム

〒930-0084 富山市大手町1番2号

TEL(代)076-424-5931(午前9時~午後5時)

[アクセスマップ] <https://www.ticc.co.jp/access/>

宿泊施設については、下記HPを参考のうえ、直接お申し込みください。

●富山コンベンションビューローHP

ホーム→宿泊施設

<http://www.toyama-cb.or.jp/hotels.html>